



OGA!男鹿!観光写真フォトコンテスト2022
最優秀賞 受賞作品「私たちの故郷。」

概要版

男鹿市総合計画

～なまはげの里～ おが幸せ未来ビジョン 2026→2029

令和8年3月



秋田県男鹿市

総合計画の
全体版は
こちらから



総合計画 「おが幸せ未来ビジョン」の 策定にあたって

男鹿市長 菅原 広二



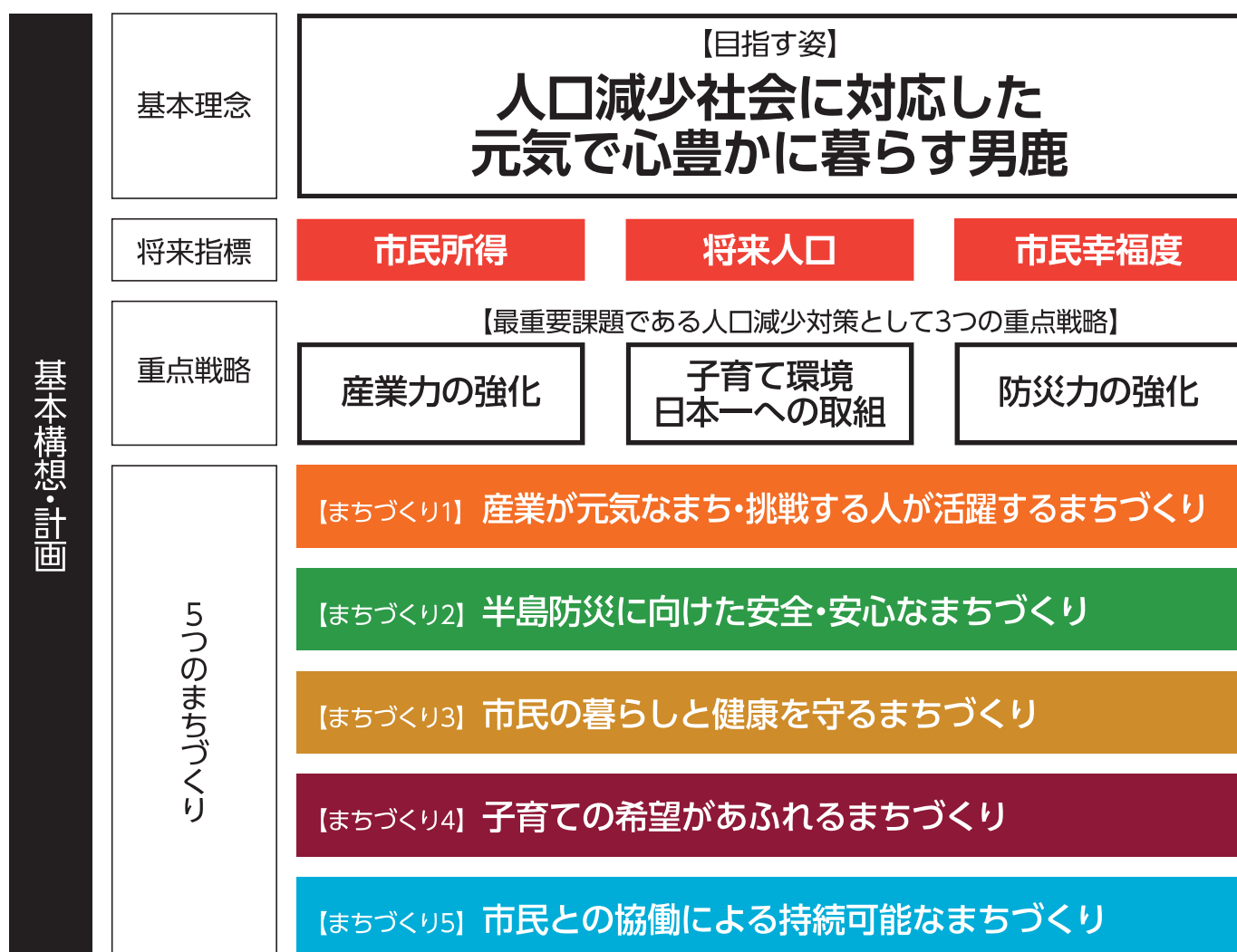
今回策定した「～なまはげの里～ おが幸せ未来ビジョン」では、目指す姿として「人口減少社会に対応した元気で心豊かに暮らす男鹿」を掲げました。

このビジョンを市民の皆様と共有し、先人が築いてきた「ふるさと男鹿」を将来にわたり維持・発展させていくため、人口減少に正面から向き合い、そのスピードをできるだけ緩めるため最大限の対策を講じてまいります。

併せて、人口減少が当面続くことを受け止めたうえで、生活の質と幸福度を高める取組を「オール男鹿」で進め、市民一人ひとりが心豊かに安心して暮らせる男鹿を目指してまいります。

1 計画の構成

～なまはげの里～ おが幸せ未来ビジョン(以下、「本ビジョン」とします。)は、市政全般にわたる政策分野を網羅し、市の理念(目指す姿)や基本的な方向性などを総合的かつ体系的に示したものです。



2 推進期間

本ビジョンの計画期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間とします。

3 計画の位置づけ

1. 市政運営の指針

本ビジョンは、市の最上位計画であり、市の施策全般の方向性を示す計画です。
市民のくらしの豊かさを高め、人口減少・少子高齢化の進行を踏まえた対応など市政運営の指針となるものです。

2. まちづくりの指針

まちづくりを進めていくにあたり、全市民と市の将来像を共有し、市の未来を共に考え、市を共により良くしていくための共通の指針となるものです。

3. 総合計画と総合戦略の関係

本ビジョンは「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「男鹿市総合戦略」と一体のものとして構成し、施策ごとに「重要業績評価指標(KPI)」を設定することで、総合戦略としての役割を担うものとします。

4. 行政改革大綱との関係

これまで、総合計画との整合性を図りつつ別々の計画として策定してきましたが、行政改革は常に取り組むべき課題として本ビジョンに統合し、取組を推進していくものとします。

4 基本理念(目指す姿)

人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿

基本理念に込めた想い

現在、本市において「人口減少対策」が市政推進上の最重要課題であると捉えています。

そうした中、産業面では洋上風力関連の事業所やデータセンターといった情報関連の企業の進出、また、農林水産業面では、ほ場整備の新規採択や経営の法人化が進展しているほか、パックご飯工場や陸上養殖事業など次代をリードする事業が動き出しています。さらに観光面では、複数の宿泊施設の立地や男鹿駅周辺広場の賑わい創出、若者を中心としたスタートアップの取組等により、まちの変化が顕著になってきているなど明るい話題が続いています。

それでも、日本全体で少子化が急速に進展する中で、本市の人口減少に歯止めをかけることは難しいのが現実です。

本計画では、人口減少のスピードをできるだけ緩めるため最大限の対策を講じていきます。併せて、人口減少が当面続くことは避けられないということを受け止めたうえで、将来の人口規模や人口構造に適應するための取組や、生活の質を高める取組を進め、市民一人ひとりの幸福度の向上を目指してまいります。

このように人口減少を緩和させる取組と人口減少に適應する取組をバランス良く実施することで、「人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿」を実現することを基本理念と定めます。

5 まちづくりの将来指標

1. 市民所得（市民所得の向上）

今後も人口減少が続くことが予想されますが、本ビジョンに基づく政策・施策の実施により、新産業の創出、男鹿ブランドの確立、生産性向上、技術革新、高付加価値化、効率化などを促進し、プラス成長を継続させ、令和11年度の市内総生産額750億円を目指します。(R4(698億円)との比較で7%アップ)

市内総生産の77%が市民所得に分配されると仮定し、令和11年度の市民所得を577億円と設定します。1人当たりの市民所得は、市独自で推計した令和11年度における推計人口である約20,000人(出生率1.10、社会動態▲100/年)で算定し、288万円を目指します。(R4(217万)との比較で32%アップ)

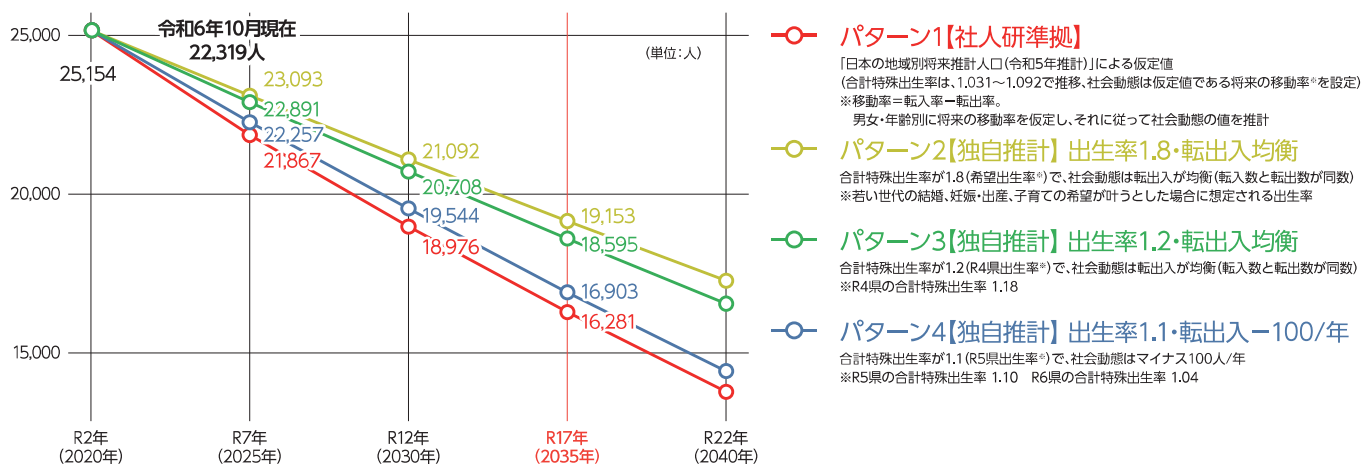
人口は減少しますが、市内総生産の成長が続くことで、1人当たりの所得の向上を図ります。

令和11年度(2029年度)市民所得目標額

令和4年度	市内総生産 698億円	1人当たりの市民所得 217万円
令和11年度	750億円	288万円

2. 将来人口（人口減少の抑制）

パターン別将来人口推計 (人口動向分析・将来人口推計のためのワークシート(内閣府地方創生推進室R6.6版)による)



将来の人口減少のスピードを出来るだけ緩やかにするため、特に転入者を増やし、転出者を減らすといった社会減の抑制に取り組むことにより、人口推計の予測推移を**パターン4**へ改善させ、令和17年(2035年)の社人研推計人口(**パターン1**)の16,281人から人口減少を719人抑制し、17,000人以上を維持することを将来展望とします。

令和17年(2035年)に維持したい将来人口

令和6年10月	22,319人
令和17年	17,000人以上を維持

3. 市民幸福度

市民意識調査の結果により、市民の幸福度の向上につながる要素として、「健康に関すること」「地域とのつながり・暮らしやすさ」「仕事・経済」等の項目が大きな要因となることが明らかになりました。

また、市民が求めている政策としては、「人口減少対策と移住・定住支援」「地場産業の活性化・企業誘致などによる雇用の確保」「高齢者福祉の充実」「観光振興」「子育て支援の充実」等が上位として挙げられました。

これらの項目は、本計画で人口減少対策として設定した3つの重点戦略【産業力の強化、子育て環境日本一への取組、防災力の強化(安全・安心、生活の質を高める取組)】と軌を一にするものであります。

このことから、

- ①市が総合計画の取組を着実に進めることで、市民の幸福度の向上を図る。
- ②市民自らが自らの幸福度を上げる取組を行う。
- ③それを周りの人から、地域、市全体へ広げ、幸福度の相乗的な高まりを図る。

これらの取組により、令和10年度に実施する市民意識調査の「幸福度」に関する設問で5～10点の比較的幸福感を感じる方の比率を90%以上にすることを目指します。

令和10年度実施の市民意識調査「あなたの幸福度」で

幸福度5～10点を付けた人の割合
令和6年市民意識調査 84.4%

▼
令和10年市民意識調査 90%以上

6 重点戦略(人口減少を緩やかなものとするために)

本市では、これまでも人口減少問題を市政の最重要課題と位置づけ、様々な施策を総動員し、社会減・自然減の抑制に取り組んできましたが、今後も、人口減少・少子高齢化は加速度的に進行することが予測されます。

人口減少は、若年労働力・消費者の減少等による地域活力の低下や、年金などの社会保障費用に係る現役世代の負担の増大、社会生活サービスの低下などをもたらすことが懸念され、地域生活への深刻な影響が見込まれる状況にあります。

このような危機的な状況を踏まえ、今の本市にとって「人口減少対策・少子高齢化への対応」が最重要課題であるとの認識に立ち、こうした課題を乗り越え、これからも住みよい、魅力的なまちであり続けるため、次の3つの取組を総合計画における重点戦略と位置付け人口減少対策として戦略的・重点的に取り組みます。

1

産業力の強化

2

子育て環境
日本一への取組

3

防災力の強化

1. 産業力の強化(雇用創出、所得向上)

「産業力の強化」の取組により、市民所得の向上や新たなビジネスに挑戦しようとする意欲ある若者、企業等に出られる男鹿を目指します。



人口の社会減の抑制

2. 子育て環境日本一への取組 (少子化対策、移住・定住促進)

「子育て環境日本一への取組」により、男鹿で結婚・出産・子育てすることへの前向きな意識を醸成しながら、充実した子育て環境の下で出生数が増加すること、さらには、そのことの積極的なPRにより子育て世代の移住者を呼び込む好循環の実現を目指します。



人口の自然減
社会減の抑制

3. 防災力の強化 (安全・安心、地域社会の維持)

「防災力の強化」等の安全・安心、生活の質を高める取組により、男鹿に暮らす全ての人々が生きがいと誇りを持ち、地域で心豊かに安心して暮らしていける男鹿を目指します。



市民の幸福度の向上

人口減少・少子高齢化への対応

①人口減少抑制への挑戦

住みたい、訪れたいまちづくり

人口減少を抑制するため、子育て世代に優しく、誰もが安心して快適に暮らせる、住んでみたい・住み続けたいと思えるまちを目指します。

②人口減少社会への適応

時代に合ったまちづくり

人口減少の抑制を図る一方で、人口減少と少子高齢化が当面続くことは避けられないものと受け止め、将来の人口規模や人口構造にしっかりと適応し、安心して快適に住み続けられるまちを目指します。

③人口減少に対する緩和策と適応策のバランス

持続性の高いまちづくり

人口減少を緩やかなものとする「人口減少緩和策」と、人口が減っても幸せに住み続けられる「人口減少適応策」をバランス良く推進することで、親先祖が築いてきた「ふるさと男鹿」を将来にわたり維持・発展させていくことを目指します。

男鹿市が目指す5つのまちづくりの取組と、目標とする主な成果指標 (KPI)

まちづくり1 産業が元気なまち・挑戦する人が活躍するまち

船川港の機能強化、企業誘致・新規起業を促進することで、新たな価値を創り出す産業づくりを進め、若者の地元への定着・回帰を促します。

観光・農林水産業では、環境整備や情報発信を強化することで多様な地域資源を磨き上げ、男鹿ブランドの向上を目指します。

1-1 次世代につなげる農業振興

指標名		現状値	目標値(R11)
農業法人数	【累計】	20法人	24法人
メロン・梨・キクなど戦略作物の産出額【年間】		10.7億円	13.2億円



養殖された男鹿つばきサーモン

1-2 未来へつなぐ魅力ある林業・水産業の振興

指標名		現状値	目標値(R11)
新規漁業就業者数	【累計】	-	8人
漁業経営体当たり漁獲額	【年間】	3,805千円	5,500千円



令和8年3月に男鹿駅前に開業した
ホテル木下 秋田男鹿駅前

1-3 地域の幸せを育む観光振興

指標名		現状値	目標値(R11)
宿泊客数	【年間】	8.4万人	15万人
観光推定消費額	【年間】	93.1億円	130億円



男鹿駅前イベント

1-4 地域に賑わいを生み出せ！商工業の振興

指標名		現状値	目標値(R11)
創業件数	【年間】	15件	23件
ふるさと納税寄附受入額	【年間】	2.3億円	8.0億円



廃校を活用したパックご飯製造工場
(株)ジャパン・バックライス男鹿)

1-5 企業誘致の推進

指標名		現状値	目標値(R11)
誘致企業における常時雇用者数	【累計】	-	65人
就業資格取得支援助成金交付者の就業決定数【年間】		7件	8件

1-6 産業立地と港湾機能強化で加速する船川港の活用

指標名		現状値	目標値(R11)
クルーズ船の寄港回数	【年間】	1回	4回
船川港の取扱貨物量の増	【年間】	272千t	500千t



船川港港湾計画

まちづくり2 半島防災に向けた安全・安心なまち

能登半島地震や大雨災害を教訓に、災害活動を迅速・円滑に行う体制を構築するとともに、避難所の環境改善や資機材の整備をすすめ、防災力の強化を図ります。

また、豊かな都市環境や自然環境を保ち、その質を高めることで誰もが快適で安心に暮らし続けるまちを目指します。

2-1 防災・危機管理体制の強化

指標名		現状値	目標値(R11)
防災リーダー講習受講者数	【年間】	1,261人	1,661人
防災士取得者数	【累計】	46人	62人



緊急銃猟訓練(クマ対策)

2-2 消防力・救急救助体制の更なる強化

指標名		現状値	目標値(R11)
消防団再編(部の統合)	【累計】	34部	30部



大規模災害対応実動訓練

2-3 快適に暮らせる生活基盤の整備

指標名		現状値	目標値(R11)
男鹿市内運行路線バスの 市民一人当たり平均利用回数	【年間】	4.7回	4.7回



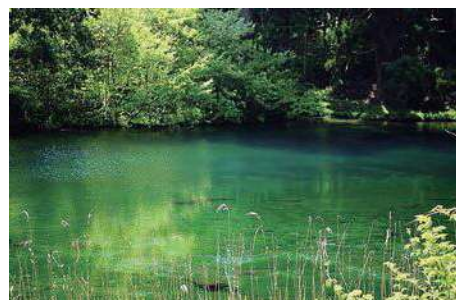
乗合タクシー実証運行

2-4 安全安心な生活環境の整備

指標名		現状値	目標値(R11)
一人一日当たりの家庭系ごみ排出量		577g	500g

2-5 持続可能な公営企業経営

指標名		現状値	目標値(R11)
下水道水洗化率		77.5%	79.5%
上水道有収率		64.9%	70.0%



滝の頭水源地

まちづくり3 市民の暮らしと健康を守るまち

地域社会における支え合いや助け合いによって、暮らしの安心感を高めるとともに、年齢や障害等の有無にかかわらず、自分らしく生きがいを持って暮らすことができるまちを目指します。

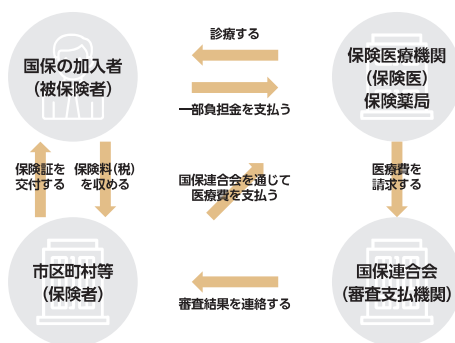
また、全ての世代が、健やかで心豊かに暮らせるよう、主体的な健康づくりを支援するとともに、地域で必要な医療を受けることができる体制づくりに取り組み、安心して暮らし続けられるまちを目指します。

3-1 地域福祉の増進

指標名	現状値	目標値(R11)
高齢者の生活を支えるボランティア団体数【累計】	1団体	3団体
介護予防自主グループ数【累計】	25グループ	29グループ

3-2 社会福祉の増進

目標・取組方針
●高齢・障害・貧困など特定の課題を持つ人だけでなく、すべての市民がお互いの個性と人格を尊重し、「地域共生社会」の実現を目指します。 ●国民健康保険、後期高齢者医療の医療費の適正化に努め安定的な財政運営に取り組むとともに、各制度への理解が深まるよう普及啓発に努めます。 ●国民年金の受給資格を確保するため、国民年金制度の周知を図り、普及啓発に努めます。



国民健康保険制度のしくみ



地域医療の新しい形
北浦地区で始まった医療MaaSの運用

3-3 生活困窮者に対する自立への福祉支援

指標名	現状値	目標値(R11)
就労支援事業に参加した生活保護受給者のうち就労により増収につながった者の割合	30.4%	50%

3-4 市民の命を守る地域医療体制の構築

指標名	現状値	目標値(R11)
男鹿みなと市民病院経常収支比率	87.3%	96.0%
男鹿みなと市民病院医業収支比率	77.6%	82.0%



集団健診会場

3-5 笑顔あふれる健幸おがライフ

指標名	現状値	目標値(R11)
特定健診受診率	27%	33%
健康アプリ利用者数【累計】	-	1,250人



乳幼児健診の様子

まちづくり4 子育ての希望があふれるまち

子育て環境日本一に向け、相談支援や経済的支援など切れ目のないサポートを包括的に行うことで、安心して子どもを産み育て、子ども達が健やかに育つ教育・社会の環境整備に取り組みます。

また、子どもから大人まですべての市民が、生涯にわたって学び、成長し、豊かな生活を実現することのできるまちを目指します。

4-1 おがっこの夢と希望を叶える環境の整備

指標名	現状値	目標値(R11)
利用保護者の満足度割合	98.0%	100%
子育て世帯の満足度割合	46.2%	80.0%



4-2 教育・保育の質の向上と環境の整備

指標名	現状値	目標値(R11)
園・学校間の相互保育・授業参観実施率 (年間各校2回以上)	-	89%
全国学力・学習状況調査 (地域の貢献に関する質問への肯定的回答)	89.3%	90.0%



タブレットを活用した協働的な学びの推進

4-3 生涯学習の推進

指標名	現状値	目標値(R11)
学級講座への参加者数 【年間】	9,522人	9,720人
市立図書館市民1人当たりの貸出冊数 【年間】	1.73冊	1.80冊



ALTによる読み聞かせ

4-4 生涯スポーツ活動の推進

指標名	現状値	目標値(R11)
体育施設利用者数 【年間】	180,633人	200,000人



県内最大規模のスポーツイベントに成長した日本海メロンマラソン

4-5 地域文化の振興

指標名	現状値	目標値(R11)
史跡脇本城跡来城者数 【年間】	2,413人	4,000人
ナマハゲ行事実施町内数 【年間】	69町内	73町内
ジオパークガイド依頼件数 【年間】	95件	125件



ジオパーク 冬の寒風山トレッキング

まちづくり5 市民との協働による持続可能なまち

まちづくりに関わる全ての人が、男鹿市への愛着と誇りを持って成長・発展していけるよう地域コミュニティの活性化を目指し、市民協働の意識醸成、担い手づくり、まちづくりに参加しやすい環境整備を行政と市民が一丸となってオール男鹿で取り組みます。

また、シティプロモーションをはじめとした人口減少対策に資する取組を進めるとともに、自治体DXの推進、公共施設の適正化、多角的な財源の確保などを推進し、将来にわたって安定的かつ発展的な行財政運営を目指します。

5-1 シティプロモーションの推進

指標名	現状値	目標値(R11)
市公式Instagramフォロワー数 【累計】	1,700人	7,000人

5-2 結婚・出産に希望が持てる環境づくり(少子化対策)

指標名	現状値	目標値(R11)
あきた結婚支援センター登録助成数 【年間】	8件	13件
結婚支援施策を通じた婚姻数 【年間】	2件	5件

5-3 移住定住で魅力ある「おが暮らし」の実現

指標名	現状値	目標値(R11)
移住定住施策等を通じて移住した世帯数【年間】	20世帯	40世帯
県外の大学等を卒業して移住した人数 【年間】	-	10人

5-4 市民と取り組む協働の地域づくり

指標名	現状値	目標値(R11)
地域振興基金活用事業への参加者数 【年間】	189人	350人
委員会・審議会等における女性委員の割合	29.2%	40%

5-5 官民一体となった空き家対策の推進

指標名	現状値	目標値(R11)
危険空き家数 【累計】	192戸	184戸
空き家バンク成約件数 【累計】	71件	110件

5-6 持続可能な行財政運営

指標名	現状値	目標値(R11)
オンライン申請の利用率(施設予約)	9.8%	20%
広報紙に関する市民アンケートでの満足度	20%	40%

なまはげの里フィロソフィ

なまはげの道徳 利他の精神

明るさ・礼儀正しさ・謙虚さ・公平さ・正義感・優しさ・思いやり

人は、自分以外の誰かのために行動するとき、最高の力を発揮し、最高の喜びを感じる

第一章 すばらしい人生を送るために

- 1 感謝の心をこめた、元氣なあいさつが幸福を呼ぶ
- 2 自ら燃える集団をめざす
- 3 笑顔が幸福をまねく
- 4 精進、仕事にうちこむ
- 5 公明正大に
- 6 人間として何が正しいか
- 7 過ぎた日を悔やまず、明日を怖れず、今日を生きる
- 8 運動する習慣を身につけよう
- 9 謙虚にしておごらず



新宿歌舞伎町でのプロモーション活動



地域みらい留学高校進学フェスin東京



OGA CONNECT vol.1 in 戸賀



五里合コミセン農園



概要版

男鹿市総合計画

～なまはげの里～ おが幸せ未来ビジョン
2026→2029

令和8年3月 発行

【発行】 男鹿市 総務企画部 企画政策課

〒010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1

TEL.0185-23-2111 FAX.0185-23-2424

[E-mail] kikaku@city.oga.akita.jp

[URL] <https://www.city.oga.akita.jp/>